

# ト★ 東星学園だより

TOSEI

東京都清瀬市梅園 3-14-47 TEL 042-493-3201 <http://www.tosei.ed.jp>

□ 西武池袋線秋津駅 南口 徒歩 10分 □ JR 武蔵野線新秋津駅 徒歩 15分

vol. 10

## 『子どもの発見者』

校長・園長 大矢 正 則

「グローバル世界に対応できる人材の育成」。現在の教育界でもはやされるこの言葉を見て、皆さんはどう思われるでしょう。高大接続改革を語る上でも欠かせない謳い文句の一つです。しかし、東星学園では、こういった人材の育成を前面に打ち出してアピールしたことは一度もありません。なぜなら、このように縦覧された教育目標にはカトリック学校として違和感を持たざるを得ないからです。

しかし、この違和感についての的確な説明をすることに難しさを感じていました。東星学園でも、このような要請に応える教育活動は実施しています。このような要請や教育活動自体を否定するつもりはないからです。ただし、それを教育目標として掲げることは全く別のことです。

そんな折、『カトリック生活』（ドン・ボスコ社）という雑誌の2018年5月号の中で李聖一神父様（イエズス会）が、この「グローバル世界に対応できる有為な人材の育成」というフレーズについて、「教育を受け、自分を磨き、この世界において自分は何をすべきかを考え、実現していきたいと思う一人ひとりの人間の思いが、かけらも見えない」（傍点は大矢による）と書かれておられるのを読み、腑に落ちた思いがしました。

カトリック学校は、グローバル世界に対応できる人材を目標に掲げることは、やはり間違いであると思います。神父様の文章にあるように、カトリック学校は、そこで学んでいる「一人ひとりの人間の思い」が出発点であり、中心であり、また方向性を示すものでもあります。その結果、グローバル世界で活躍する人材ができればそれはよいことですし、ローカルで、すなわち地域のために働くのもまたよしです。更に突き詰めて言うと、働くことができない場合もあります。どのような生き方をしたとしても、そこに人としての優劣を見出すことは、当たり前ですが、あり得ません。神様から命を与えられたことに感謝して生活し、人生を送るのならば、すべて神様から見たら、ストライクなのです。ですから、グローバル世界ありきで始まるような教育活動を、カトリック学校は、実施はすれども、目標として掲げることはありません。

また、最近はアクティブラーニングが当たり前のように語られますが、重松清氏が小説『ナイフ』の中で登場人物を通して「コンジョーやキアイのないコッているんだよ。歌の下手なコや、手先の不器用なコや、数学が苦手なコがいるのと同じように」と語っているのと同じように、アクティブラーニングを不得手とする生徒もいます。「自分の意見をはっきりと言いなさい」という教師による指導は間違いではありません。しかし、学校生活で自分の意見をはっきりと言えない生徒もいます。自分の意見を言えないことと、何も学んでいないことは決して同値ではありません。何の発言もできなくてもその生徒の中で思考が活性化したのならば、それがその生徒にとってのアクティブラーニングなのではないでしょうか。最近はようやく減少傾向になりましたが、アクティブラーニングの研修に行くと、授業形式の類型化に留まっているものが少なくありませんでした。更に、生徒は発言ができることが前提になっています。しかも、かなり上手にできることが。もしもアクティブラーニングが隆盛になるとすれば、それは一種のフェイクになるような気がします。

念のため付け加えておきますと、私は現在の授業のままよいと言っているわけではありません。はじめにグローバル世界ありきの教育目標に違和感があるのと同じ感覚で、はじめにアクティブラーニングありきの授業観に疑問を感じるのです。その上で、授業研究は教員にとっては常に取り組むべき重要な課題です。

では、何を出発点に授業や教育がなされるべきなのか。子どもの発見者と呼ばれるルソーによる「精神にはそれぞれ固有の形式があって、それに応じて導かれる必要がある。（中略）教育の成功には、ほかの形式ではなく、その固有の形式によって生徒が導かれることが大切だ」（岩波文庫版『エミール（上）』今野一雄訳）という発見を、いまこそ私たちは知る必要があります。

日本の教育が、戦前は国家のための、戦後は経済至上主義の、現在はグローバル世界に対応できる人材の育成を目的として行われてきた結果、人間の固有の形式は、顧みられることなく傷つけられてきました。いまこそ、人材の育成を目的におくことなく、固有の形式に信頼を寄せ、その信頼自体が目的となる教育が求められています。それは東星学園の建学の精神である『人間の価値と使命を尊ぶ』ことに他なりません。